

令和4年度 教育活動等に対する学校評価書(自己評価結果書)

学校法人二葉学園 葛飾二葉幼稚園

1. 本園の教育目標

「自立と思いやりの心」

●自ら考え、自ら課題にぶつかり、自ら解決できる子

遊びや保育を通して、知的好奇心や探究心、興味、関心、意欲を引き出し、一人一人の段階に合わせて生きる力に結びつける。

●自らを律しつつ、他者を思いやれる子

友だちが好き、先生が好き、幼稚園が好きという思いを通して、暖かい風土や雰囲気の中で他者を好きになることで、自分を律しつつ、一人でも遊べ、みんなとでも遊べることを身につけ、さまざまな場面でも他者を思いやり、自分の意思を選択できる力に結びつける。

●健康で、がまん強いたくましい子

物の豊かさが心や身体に及ぼす影響を踏まえ、幼児期に必要な運動による身体能力の向上、心の発達、神経機能の発達を目指し、心身ともに健康な子どもに育てる

2. 本年度の重点目標

ここ数年の課題になっている、保育園志向の保護者の増加、及び、コロナ禍による新しい生活スタイルのサポート等、情勢に見合う乳幼児教育・保育を目指す。また、若手職員の育成に重点を置き、安定した職員配置となるようにする。

3. 教職員による、評価項目に対する自己評価実施（年3回）

葛飾区による指導検査の実施

評価項目	教職員自己評価	自己評価結果
① 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none">・園外保育について、徒歩だけでなくバスを利用するものも含め、計画的に実行した。今年度は、葛飾区の花である菖蒲を見に菖蒲祭り（水元公園）に行き、地域の方とのふれあうこともできた。・昨年度同様、ゲストティーチャー（自然遊びコーディネーター）に引き続き来ていただくこととし、前年度の自然遊び（学び）をより充実させた。・昨年度に一本化した保育管理システムをより使い込めるようシステム内の情報を把握し、3号認定児の連絡ノートを含め保護者の方に保育の様々な情報を配信した。	B
② 保育の在り方、乳・幼児への対応	<ul style="list-style-type: none">・主体性を意識した保育が行えるよう、これまであったものだけでなく、手作りを含めた様々な教材（園庭用お遊びテーブル、竹ブロックなど。）を増やし、保育室や広場などの園内だけでなく、園庭においても興味関心が持てる環境設定を行った。子ども一人で満足できる遊びはもちろん、友だちと誘い合って遊ぶ姿を多くつくり出すことができた。	A

③ 教師としての 資質、能力・ 良識・適正	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、組織として『文部科学大臣賞』を受賞したことがより園の自信となり、これまで同様保護者に向けて『ふたば通信』の配信を行った。保育教諭だけでなく、他職種についても、その専門性に特化したふたば通信となり、保護者の方だけでなく他施設（区役所、大学、等）からも高評価をいただいた。 ・60年以上園バスの運行を行っているが、職員の高い意識と安全管理、及び、これまでのノウハウがあり、他園で起きた園児の降ろし忘れは一度も起こっていない。 	A
④ 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事は在園期間でとても大切な保育の一環であるが、コロナ禍で延期や中止を余儀なくされてきたものを、状況に合わせ新しい形で開催した。コロナ等の感染状況における段階を踏まえた対応をいち早く確認しすぐに対応した。 	B
⑤ 地域の自然や 社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、計画的に園外保育を計画しているが、今年度は初の試みとして年長組が稲刈りを体験した。農家の方と触れ合うことで、自然の大切さ、食の育み、外部の方の前でのマナーなど、様々なことを体験することができた。矢切の渡し乗船体験は、継続して行った。 ・中学校からの職場体験受け入れは、数年続いたオンラインではなく、4校の生徒を受け入れ、久々に実のある職場体験学習とすることができた。 	A
⑥ 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・りんごひろばでは、先を見据えた育児ができるよう、入園のための説明会前に“ミニ説明会”を行い、乳児期から幼児期に向けての育児について分かりやすいように話をするなど保護者支援を行った。 ・外部からリトミック講師を招き、家庭では思い切り動かす機会が少なかった親子が楽しんで参加していただくことができた。 	A
⑦ 研修	<ul style="list-style-type: none"> ・園内で行っている5分間研修の継続、外部研修を受けた職員は、自身の学びの再確認も含め、受けていない職員にフィードバックをしている。 ・葛飾区内の幼稚園研修会の会場にもなり、他園の職員と同じ学びをするなど、園内にいながらも外部の講師や幼稚園教諭の方と学びあうことができた。 	A

※自己評価結果の表示方法

A…十分達成された

B…達成された

C…取り組んだが達成が十分ではない

D…取り組みが不十分であった

4. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

指導検査による指導はなかった。コロナ禍で計画の変更があったが、前年度の考察によりその都度対応することができたが、その時により状況が違って来る事が想定されるため、引き続き、BPC や PDCA を見直し安定した教育保育環境を提供できるようにする。

5. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。